

令和4年度成果報告 教育委員会総括

1. 学校教育関係

町内小中学校の学習環境を一層充実するため、国・県の学級編制基準に対し町として、1学年30人以上35人以下の学級について町費講師配置により2クラス編制を実施した。また、特別支援教育の充実のため、特別支援員を小学校に4名配置した。

コロナ禍が収束しない中においても、感染防止対策を図りながら学校行事を行うことができた。

2. 子どもすくすく関係

令和4年4月に保育園から認定こども園「なぎそこども園」へ移行することができた。信州型自然保育認定園（普及型）として令和4年10月1日に認定を受けた。勝野眞言先生のワークショップなど、特色ある保育を遂行することができた。

放課後子ども教室についても、コロナウイルス感染症対策に十分留意する中で運営を行い、可能な限りの開設に努めた。

3. 生涯学習・公民館活動関係

昨年度までコロナウイルス感染症の影響で自粛されていた公民館活動については、コロナウイルス感染症対策を図りながら徐々に再開された。生涯スポーツ活動やサークル活動等については、チャレンジクラブとの連携により、コロナウイルス感染症対策に十分留意する中で活動を行った。

妻籠町並み交流センター竣工後の妻籠分館解体、駐車場整備を行った。

4. 文化財・保存事業関係

令和2年度から取り組んでいた史跡中山道保存活用計画を策定することができた。また、3月16日に「南木曾町の林業資料」が長野県有形民俗文化財に指定された。

博物館運営については、入館前の消毒・検温を行い、公開範囲も制限するなどしてコロナウイルス感染症対策を徹底する中で、可能な限りの公開に努めた。

【評価】

4年度の教育委員会関係事業については、概ね計画どおりに進めることができたが、一部事業については、様々な事情により次年度への繰越となってしまった。

令和5年4月1日に開設された「なぎそこども園」については、南木

曾らしさを活かして順調に運営するができた。

教育行政全般の活動行事については、感染予防対策を取りながら徐々に規模を拡大して行うことができた。

9 教育委員会所管

1. 教育委員会関係

(1) 教育委員会関係

① 委員等

教育長 伊藤信男（～6月30日） 向井庄司（7月1日～）
教育委員 勝野 忠、小原貞幸、矢澤純子、深谷秀次

② 定例会 （12回開催 議案件数22件 承認件数22件、提出日及び議案を記載）

- ・ 4月27日 「妻籠宿伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱の一部改正について」
「蘇南高等学校の充実発展のための支援事業補助金交付要綱の一部改正について」
「南木曾町公民館分館長・主事の任命について」
「南木曾町スポーツ推進委員の任命について」
「南木曾町文化財保護審議会委員の任命について」
「妻籠宿保存地区保存審議会委員の委嘱について」
- ・ 5月18日 「南木曾町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について」
「南木曾町認定こども園運営審議会委員の委嘱について」
- ・ 6月22日 「県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について」
「要保護・準要保護児童生徒の認定について」
- ・ 8月25日 「要保護・準要保護児童生徒の認定について」
- ・ 9月27日 「南木曾町指定有形文化財の指定について」
- ・ 10月25日 「南木曾町私立高等学校光熱費価格高騰対策支援事業補助金交付要綱の制定について」
- ・ 11月25日 「南木曾会館の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について」
「南木曾町社会体育館の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について」
「南木曾町地域社会教育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について」
「南木曾町学校開放施設の管理に関する条例の一部改正について」
「南木曾町総合グラウンドの設置及び管理に関する条例の一部改正について」
「妻籠町並み交流センターの設置及び管理運営に関する条例の一部改正について」
- ・ 1月27日 「南木曾町子ども・子育て会議委員の委嘱について」
「なぎそこども園運営審議会委員の委嘱について」
「南木曾町子どもサポート協議会委員の委嘱について」

（他の開催日 7月27日、2月24日、3月9日）

③ 臨時会 （1回開催 議案件数1件 承認件数1件、提出日及び議案を記載）

- ・ 7月1日 「南木曾町博物館長の任命について」

(2) 総合教育会議

- ・11月25日 町長主催で町長と教育委員会が教育問題等について話し合う総合教育会議を開催した。

「南木曾町の教育行政について」

「教育関係計画について」

(3) 研修等

- ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会 書面決議
- ・長野県市町村教育委員会協議会 4月18日 オンライン
10月21日 佐久市
- ・木曾郡町村教育委員会連絡協議会総会 大桑村

(4) 教育相談関係

- ・教育相談／相談件数実績（面談・電話等） 年間 0件
相談員 勝野 忠氏（平成30年4月 就任）

(5) いじめ対策委員会

- ・南木曾町いじめ問題対策連絡協議会開催 11月24日
- ・小中学校においては対策委員会を設置している。日常の児童生徒観察を大切に、気にかかる点はすぐに報告・連絡・相談をするとともに、毎回の職員会で情報交換を行っている。また、「生活アンケート」を取り、児童生徒の様子への把握に努めている。
- ・町では、具体的かつ実効のないいじめ問題への取り組みについて、「いじめ防止等のための基本的な方針」を平成29年3月に定めたものを、県の改正にあわせ平成30年8月に見直した。

(6) 南木曾町教育委員会 後援事業

- ・琴伝流大正琴宇宙琴2000親睦演奏会 7月31日 南木曾会館
 - ・令和4年度サークル発表会 9月4日 南木曾会館
 - ・「わが青春つきるとも」上映会 10月16日 妻籠町並み交流センター
 - ・第36回町民展 10月29日～11月2日 南木曾会館
 - ・第46回南木曾町公民館大会 2月6日 南木曾会館
- 【協賛】
- ・第32回南木曾町社会福祉大会 11月20日 社会体育館

2. 学校教育関係

(1) 学級編制、児童・生徒数等

①南木曾小学校

児童167名 教職員29名 普通学級7 特別学級3 詳細は別紙参照

②南木曾中学校

生徒120名 教職員26名 普通学級6 特別学級3 詳細は別紙参照

③特別支援教育

- ・南木曾小学校 自閉症・情緒障害学級（対象11名） 知的障害学級（対象2名）
LD等通級教室（利用児童13名）
- ・南木曾中学校 自閉症・情緒障害学級（対象5名） 知的障害学級（対象1名）
LD等通級サテライト教室（生徒6名）

④その他

- ・南木曾小学校 町費講師2名、特別教育支援員4名、嘱託図書館司書1名を配置
- ・南木曾中学校 町費講師1名、非常勤講師2名、嘱託図書館司書1名を配置

(2) 通学対策

①スクールバス通学

町が運行する南木曾町新交通システムの中で対応した。

○南木曾小学校 対象児童数132名 南木曾中学校 対象生徒数34名

・小学校 5系統

登校・下校【保神】 保神⇔妻籠⇔南木曾小

登校・下校【田立①】 田立駅⇔灯籠前⇔南木曾小

登校・下校【田立②】 田立駅⇔渡島・神戸⇔南木曾小

登校【北部】 岩倉橋→南木曾小 下校【北部】 読書保育園→南木曾小→岩倉橋

登校・下校【与川】 向田⇔南木曾小

・中学校 3系統

登校・下校【保神】 保神⇔南木曾中

登校【北部】 岩倉橋→南木曾中 下校【北部与川】 南木曾中→岩倉橋→向田

登校【与川】 向田→南木曾中

②スクールバス特発

○南木曾小学校 3,969千円（R3：1,781千円。校外活動、プール開放等）

○南木曾中学校 7,748千円（R3：5,839千円。部活、郊外活動等）

③電車通学（JR定期券購入助成）

- ・南木曾中学校田立地区生徒は電車通学とし、定期代を全額補助
- ・対象生徒数26名 814千円

④通学路における交通安全対策について

令和3年度に小中学校の保護者から情報収集し国・県・町等関係者で合同点検を実施した結果に基づき、木曾建設事務所・町建設環境課建設係で対策を実施した。

- ・速度抑制表示 主要地方道南木曾停車場線・JR高架橋付近
- ・グリーンベルト 町道坂の下線・読書保育園下付近
町道本谷線・岩倉橋交差点
町道本谷線・籠淵橋
町道正兼線・坪川橋付近
- ・歩道拡幅 主要地方道南木曾停車場線・大沢田橋（R5に実施予定）

(3) 防犯、安全関係

①携帯PCメールによる一斉配信

- きずなネットの利用 学校から保護者・職員への緊急連絡体制
 - ・配信件数 小学校45件、中学校101件
 - ・内容 行事予定関係、熊目撃情報、コロナ対策関係 等

②休校措置関係

- 小中学校臨時休校 なし

③出席停止・学級閉鎖等関係

- コロナウイルス感染に伴う措置
 - ・小学校 出席停止 95名 学級閉鎖 0件 学年閉鎖 2件
 - ・中学校 出席停止 50名 学級閉鎖 0件 学年閉鎖 0件
- インフルエンザ感染に伴う措置 (該当なし)
- インフルエンザ以外の感染症に伴う措置 なし

(4) 国際化・交流関係

①A L T (外国語指導助手)

- ・委託先 名古屋市 (株)アルティアセントラル
- ・委託期間及び契約額 令和4年4月1日～令和5年3月31日 5,390千円
- ・派遣英語指導助手 ジェイク・ライリー (イギリス)
- ・委託内容 南木曾小中学校での英語指導、社会人英会話教室講師

②名城大学との学習連携

- ・中学3年生を対象とした大学生有志による学習支援を実施 (オンライン)

(5) 就学援助費

○学校、民生児童委員と連絡をとりながら援助を行った。

・要保護、準要保護児童生徒援助費

単位：人、世帯、千円

年度	小学校			中学校			計		
	対象児童数	家庭数	金額	対象生徒数	家庭数	金額	対象児童生徒数	家庭数	金額
30	5(1)	4	478	3(1)	3(1)	386	9	5	864
元	5	4	431	4(2)	4(1)	635	9	6	1,066
2	6	4	499	4(2)	4(2)	573	10	7	1,072
3	3	3	224	5(1)	5(1)	603	8	7	827
4	3	3	145	6(0)	6(0)	674	9	7	819

※ () 内は入学準備費認定者の外数 [小学校は来入児、中学校は小6年生]

・特別支援教育就学奨励費 中間教室通学費 2名 98千円

(6) 学校給食

学校給食については、自校方式によりこれまでどおり運営した。安全安心な学校給食を目指して、引き続き衛生管理に十分配慮した調理の実施を図ってきた。食生活指導では、栄養士を中心に積極的に取り組んだ。給食調理従事者については、県及び郡の研修会がコロナ対策としてリモートや出席者数を制限する等での実施となったため、参加した栄養士・職員がその内容を伝える等で衛生管理意識の向上を図った。

給食を通じて食文化や環境問題、地域の農業への関心を高める目的で、木曽南部産コシヒカリを使用した米飯給食、地元産の野菜使用についても関係者と協力して積極的に取り組んだ。また、物価高騰対策として地方創生臨時交付金を活用し小中給食会計に補助を実施した。

(7) セカンドブック・サードブック事業

読書を通して文字に親しんだり豊かな心を育むことを目的に、図書選定委員が選定した図書を小学校入学と中学校卒業の記念に町から贈呈した。

- ・セカンドブック 対象児童 小学校1年生24名 選定図書22冊から1冊を選択
- ・サードブック 対象生徒 中学校3年生43名 選定図書28冊から1冊を選択

(8) 学校教育関係の会議等

- ・教育委員と町内学校長・教頭との会議 随時
- ・町内学校長・教頭連絡会 5回
- ・郡町村教育委員連絡協議会 7回
- ・県主幹指導主事学校訪問（南木曾中学校・南木曾小学校） 6月28日
- ・学校、教育委員会と民生児童委員、人権擁護委員、保護司との懇談会
小学校6月3日、中学校6月13日
- ・議会総務文教委員・教育委員・学校長・教頭合同会議 南木曾会館 10月31日
- ・園小連絡会 3回
- ・小中連絡会 3回
- ・園小中高連携教育連絡会 1回
- ・南木曾中学校「スポーツ文化活動支援連絡会」 2回

(9) 学校関係負担金、補助金等

単位：千円

支出先	補助金	備考
長野県中学校体育連盟負担金	24	県・郡関係学校負担金
木曾郡町村会負担金	360	〃
学校保健会負担金	2	
中信地区私立学校補助金	160	4校8名
英語検定等検定料補助金	228	英語36名、数学11名、漢字19名
移動音楽教室鑑賞費補助金	0	事業中止(コロナ感染症対策)
地元産食材利用補助金	750	
木曾郡中間教室負担金	891	

(10) 新型コロナウイルス対策関係

① 地方創生臨時交付金事業

- ・学校給食費負担軽減事業 4,230千円

物価高騰に伴い、保護者の学校給食費への負担軽減を図るため、小中学校生徒1名あたり15千円を給食会計に補助した。

②学校行事広域ケーブルテレビ番組放送事業

- ・小学校 運動会 5月28日（放送日：6月23日～29日） 270千円
音楽会 10月21日（放送日：12月1日～7日） 275千円
- ・中学校 総合発表会 9月30日、音楽会 10月14日
（放送日：11月17日～23日） 360千円

(11) 高校に関すること

①蘇南高校に関する会議等

- 9月20日 第1回蘇南高校評議員会
- 10月26・27日 総合学科小規模高校先進地視察 長崎県（平戸高校・松浦高校）
- 11月13～15日 総合学科小規模高校先進地視察 北海道（斜里高校・大空高校）
- 12月9日 総合研究発表会
- 12月21日 地元市町村協議会
- 2月28日 蘇南高校ふるさと探究実践編地域共創プロジェクト集会

②蘇南高校支援に関すること（同窓会事業への助成）

- ・PR用チラシ等作成に係る助成 120,000円
- ・海外語学研修に対する助成 3,440,290円
カナダ バンクーバー周辺 3月5日～14日（10日間）
2学年 12名 引率教諭2名 計14名参加
- ・蘇南アカデミーに対する助成 399,900円
進学を希望する生徒を対象とした補習授業の報酬等
- ・郡外からの入学希望者に対する下宿所の借用等経費及び管理人に対する助成 2,280,000円（3人）
- ・ICT学習教材に対する助成 225,930円
- ・地域学習に対する助成 19,200円

③緑誠蘭高校関係

- 緑誠蘭高校が行う地域学習に対し、関係団体との連絡調整など協力支援を行った。
- 新型コロナウイルス対策関係 地方創生臨時交付金事業
 - ・私立学校負担軽減事業 350,000円
燃料高騰に伴い、保護者の負担増につながらないように、私立学校の電気・ガスの高騰分について、前年度実績に対する本年度実績と見込により、価格上昇差額分を事業者に対し補助することにより保護者を支援した。

令和4年度 児童・生徒数、教職員数 (令和4年5月1日現在)

学年	学校	南木曾小学校				南木曾中学校			
		男	女	計	学級数	男	女	計	学級数
令和4年度 児童・生徒数	1学年	11	12	23	1	(4) 17	(1) 24	(5) 41	2
	2学年	(1) 13	(1) 6	(1) 19	1	(2) 16	(2) 13	(2) 29	2
	3学年	(4) 12	(1) 12	(5) 24	1	(2) 23	(2) 16	(4) 39	2
	4学年	(1) 13	(1) 15	(1) 28	1	/			
	5学年	(4) 13	(4) 12	(4) 25	1				
	6学年	(2) 22	(1) 11	(3) 33	2				
	合計	(12) 84 96	(2) 68 70	(14) 152 166	特3 普7	(8) 56 64	(3) 53 56	(11) 109 120	特3 普6
令和4年度 教職員数	教員職員	校長・教頭	2	0	2	2	0	2	
		教諭	5	5	10	8	2	10	
		養護教諭 *助教諭含	0	1	1	0	1	1	
		講師	1	3	4	1	4	5	
		栄養士	0	1	1	0	1	1	
		県事務	1	0	1	0	1	1	
		町事務(司書)	0	1	1	0	1	1	
		用務員	0	1	1	1	0	1	
		給食調理師	0	4	4	0	3	3	
		特別支援員	1	3	4	0	0	0	
		ALT	0	0	0	1	0	1	
		合計	10	19	29	13	12	26	
		内訳	県	8	8	16	11	7	18
	町			(栄養士)1 (給食)1	2		(給食)1	1	
町会計年度 任用	(常勤講師)1		(常勤講師)1 (用務員)1 (給食)3 (司書)1 (特別支援員)1	11	(常勤講師)1 (用務員)1	(非常勤講師)2 (給食)2 (司書)1	7		
町委託				0	(ALT)1		1		
所在地		読書3757-2				読書2942-2			
校長		松井 聡				上田 宏志			
教頭		岩原 秀志				牛腸 要			
電話	事務室	(0264)57-2004				(0264)57-2043			
	校長室	(0264)57-2349				(0264)57-2350			
	給食室	(0264)57-2056				(0264)57-2262			
ファックス		(0264)57-2005				(0264)57-4125			

- (注) 1.南木曾小学校講師は、県費講師1名、県費非常勤講師1名、町費講師2名である。
2.南木曾中学校講師は、県費講師2名、町費講師1名、町費非常勤講師2名である。
3.学級数は、普は普通学級、特は特別支援学級、()内は県基準による学級数。
4.児童生徒数上段の()数字は、特別支援学級児童生徒の外数。
5.内訳の県・町には、常勤・非常勤の講師を含む。

[別表]

令和4年度総務学校関係主な建設事業

設計監理業務関係

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				左の財源内容				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
南木曾小学校駐車場整備工事設計監理業務	小学校	一式	1,287				1,287	繰越事業 R3→R4
合計			1,287				1,287	

単位：千円

工事関係

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				左の財源内容				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
南木曾小学校駐車場整備工事	小学校	一式	35,266		30,000		5,266	繰越事業 R3→R4
合計			35,266		30,000		5,266	

単位：千円

3. 生涯学習・公民館活動

(1) 社会教育委員・公民館運営審議会関係

- ①南木曾町社会教育委員・南木曾町公民館運営審議会（委員10名全員兼務）
- 会 議 4回 南木曾会館
南木曾町社会教育、公民館事業実績及び事業計画について 他
 - ②郡、県社会教育委員連絡協議会等
 - 木曾郡社会教育委員連絡協議会
 - ・理事会 4月14日 木曾町役場 2名
 - ・総 会 5月16日 木曾町役場 2名
 - ・研修会 10月19日 木曾町「さとテラス」他 7名
 - 中信地区社会教育委員連絡協議会
 - ・理事会 2回 4/20 オンライン・7/5 松本合庁
※2/10 大雪中止 清水醇理事
 - ・総会、研修会 6月13日 長野県総合教育センター 2名
 - ・地区別研修会 10月12日 松本市教育文化センター他 2名
 - 県社会教育委員連絡協議会
 - ・総会、講演会 6月15日 オンライン 2名
 - ・県社会教育研究大会 9月15日 オンライン 2名
 - 全国社会教育委員連合
 - ・全国社会教育研究大会 10月27日（～28日）広島市 清水醇理事
 - ③郡、県公民館運営協議会等
 - 木曾郡公民館運営協議会
 - ・総会 4月8日 木曾町開田母子保健センター
 - ・役員会 2回 郡内各所
 - ・館長主事等合同会議 6回 郡内各公民館
 - ・第61回木曾郡公民館大会 11月6日 木曾文化公園
 - ・郡公運協視察研修 2月8日 塩尻市ソヤノウッドパーク
 - 長野県公民館運営協議会
 - ・館長総会、研修会 5月11日 須坂市
 - ・第70回長野県公民館大会 9月29日（～30日）上田市
 - ・主事研修会 12月8日（～9日）塩尻市

(2) 南木曾町公民館事業

- ①第36回南木曾町民展（第37回南木曾町木工造形コンクール同時開催）
10月29日～11月2日 南木曾会館
出展者202名 出展数287点（内木工コンクール25点）
特別展：岡田政晴「南木曾町12景」絵画展 12点
岩田悦治「書に込めた祈り」遺作展 6点
- ②第46回南木曾町公民館大会 2月5日 南木曾会館
テーマ「人・心・地域・文化を育み、親しみやすい町づくり」
○伝統芸能披露 与川神楽・田立刺捕差・田立歌舞伎
- ③英会話教室 通年 教育委員会と共催
- ④なぎそサークル発表会（NPO法人なぎそチャレンジクラブと共催）
参加 9団体 9月4日 社会体育館

- ⑤読書発電所見学(タイムカプセル事業) 10月22日 ※美術館等見学 中止
 ⑥タイムカプセル開封事業(返還式) 12月4日
 ⑦分館長・主事会議 5回 南木曾会館
 ⑧分館活動
 ○分館活動一般交付金 7分館 2,299,400円
 ○体育活動費交付金 // 949,800円
 ⑨会館図書室 本貸し出し冊数 741冊
 ⑩公民館報 年12回発行 425～436号 広報なぎそと合冊

No.	主な内容
425	南木曾町公民館図書室から～新着本紹介～
426	分館長主事会議・役員体制、第17回市町村対抗小学生駅伝大会、チャレンジクラブ結団式、社会人英会話教室
427	広瀬分館記事、中学校CS職場体験、小学校CS田植え
428	北部分館記事、三留野分館記事、中学校CS朴葉寿司、小学校CS読み聞かせ
429	木曾郡総合体育大会陸上競技会、本館記事、デジとしよ信州、新着本
430	蘭分館記事、広瀬分館記事、なぎそサークル発表会2022
431	デジとしよ信州、モルック・卓球交流会、新着本
432	南木曾町民展、与川分館記事、田立分館記事、土曜子ども教室、木曾郡公民館大会
433	北部分館記事、三留野分館記事、田立分館記事
434	与川分館記事、田立分館記事、小学校CS、新着本
435	南木曾町公民館大会
436	南木曾町公民館図書室から～新着本紹介～

(3) 家庭教育関係

- 土曜子ども教室「見えない学力をつけよう」 1回
 ・地域を知ろう！読書発電所見学会～読書発電所・建設100周年～ 10月22日
 ※公民館事業「タイムカプセル事業」共同

(4) 青少年育成関係

①青少年育成連絡協議会

○南木曾町青少年育成連絡会

- ・南木曾町内の青少年健全育成を目的とする団体で組織
 与川分館、北部青少年育成会、三留野分館青少年育成部、妻籠分館育成部、
 蘭青少年育成会、広瀬地区子供と歩む会、田立地区子どもと歩む会
 ※単独で活動している団体：蘭地区・北部地区

- ・地域育成会活動への助成 補助金196千円
- ・啓発活動等
 - 街頭啓発活動 7月4日 南木曾駅 ※保護司会と共催
 - 街頭啓発活動 11月8日 南木曾中学校
- ・育成会連絡会 6月23日 南木曾会館 7名

②青少年活性化・PTA助成事業

小中学校PTA活動を通じた青少年活動への助成

- 南木曾小学校 補助金 291,950円
 - ・地域体験学習（講師謝礼、材料費等）
 - ・地域との連携（地区行事費補助）
 - ・PTA親子教室、環境整備（レク用品、材料費等）
- 南木曾中学校 補助金 222,000円
 - ・講演会（講師謝礼）
 - ・環境整備（花壇、土手整備に係る材料費等）
 - ・PTA校外活動、会報（地区活動費等補助）

(5) 人権教育関係

①県関係

- 市町村社会人権教育担当者会議 2回

②町人権教育促進事業

- 人権教育講座 中止（コロナウイルス感染防止のため）

(6) 教育委員会事業関係

①令和4年度成人式

- 対象者 令和4年8月14日 南木曾会館
36名（平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれ）
うち出席者 29名
- ・記念式典 規模を縮小して実施（アトラクションなし）

②英会話教室

通年（公民館と共催）

③みんなのカレンダー

町ホームページ掲載

④生涯学習情報

町ホームページ掲載・全戸配布

⑤木曾文化公園自主事業への企画運営協力

- 運営委員会 5回 木曾文化公園
- 各種事業への協力
 - ・スマイルスクエア木曾 10月8日 他
 - ・映画上映会 11月3日 他
 - ・岡本友高リサイタル 1月14日
 - ・ドリアン助川講演会 2月26日
 - ・よらまいか寄席 3月26日

(7) 施設関係

①南木曾会館

一般、施設修繕 1,090千円 正面玄関フロア床材張替 等

②妻籠町並み交流センター（令和4年4月開館/令和4年3月竣工）

建設工事費（R3事業） 206,415千円

財源内訳 国庫補助金103,200千円・起債103,200千円・単費15千円

※公民館妻籠分館で管理

③分館

一般、施設修繕

372千円 照明器具取替 等

④地域社会教育施設

維持管理体制

妻籠社会教育施設	◎校舎及び周辺 ・財団法人妻籠を愛する会に管理委託 ※清掃、草刈 ◎グラウンド ・公民館妻籠分館で管理
蘭社会教育施設	◎グラウンド、体育館 ・町教委管理、行事等で使用 ◎夜間休日の体育館及び夜間照明 ・町教委管理、維持清掃はシルバー人材センターに委託 ※校舎等については学校教育施設
田立社会教育施設	◎1階建旧校舎は公民館田立分館で管理 ◎2階建旧校舎、プレハブ校舎は町教委管理 ◎校舎外環境整備作業はシルバー人材センターに委託 ◎体育館、グラウンドは、町教委管理 ・田立地域振興協議会でグラウンド及び周辺の整備作業

施設修繕

744千円

○蘭社会教育施設

体育館スチール扉 等

○田立社会教育施設

グラウンド整備

⑤社会教育施設利用状況

○蘭社会教育施設

地域住民に利活用いただいている。(ソフトバレーボール等)

※校舎は、学校法人山本学園と賃貸借契約を締結。(令和2年度から)

○田立社会教育施設

地域住民に利活用いただいている。(剣道等)

※旧図書室は、陶芸教室として使用。(令和2年度から)

(8) 社会教育施設における新型コロナウイルス感染症予防対策

○新型コロナウイルス感染症予防対策についての注意喚起通知等

○施設使用者へ施設利用者名簿作成の依頼

○アルコール消毒液及びペーパータオル等の配布及び設置

4. 生涯スポーツ事業

(1) 社会体育推進会議、団体等

①南木曾町体育協会

町補助金 900千円

○会計監査及び三役会議

5月2日 南木曾会館

○第62回定期総会

5月9日 南木曾会館

○体育協会加盟部 (20部)

野 球 部 バレーボール部 バスケットボール部 卓球部 剣道部 陸上部

スキー部 ソフトボール部 射撃部 サッカー部 バドミントン部

ゴルフ部 マレットゴルフ部 駅伝部

柔道部(休部) ソフトバレーボール部(休部) ソフトテニス部 (休部)

弓道部(休部) 山岳部(休部) 相撲部(休部)

- ②木曾郡体育協会
 ○理事会 1回 4月16日 上松町公民館
 ○令和4年度定期総会 5月14日 上松町公民館

(2) 社会体育施設利用状況

①総合グラウンド（運動場）	利用回数	76回	利用者	延	1,080名
②社会体育館	利用回数	1,797回	利用者	延	16,722名
③学校開放施設					
南木曾小学校体育館	利用回数	72回	利用者	延	1,529名
南木曾中学校体育館	利用回数	53回	利用者	延	780名
〃 校庭	利用回数	185回	利用者	延	2,462名

(3) スポーツ大会・教室・行事等

- ①少年スポーツ大会
 ○南木曾学童野球南木曾大会 11月26日 50名（町内外5チーム）
 ○南木曾町少年剣道大会 12月11日 20名（町内外2クラブ）
 ○中学生フットサル大会 1月～3月 中学校体育館
- ②社会人スポーツ大会等
 ○社会人野球連盟リーグ戦 6月～10月 中止
 ○社会人ソフトボール連盟リーグ戦 8月～10月 中止
 ○6人制チャレンジバレーボール大会 9月～11月 中止
 ○チャレンジソフトバレーボール大会 12月～2月 中止
 ○チャレンジフットサル大会 1月～2月 社会体育館（町内外6チーム）
- ③木曾郡総合体育大会
 ○第70回木曾郡総合体育大会 6月～11月 郡内
- ④公民館関係
 ○地区町民運動会
 蘭・広瀬 9月11日 中止
 北部、三留野、妻籠 10月9日 中止
 ○スポーツ行事
 三留野（ソフトバレーボール） 6月19日
 与川（マレットゴルフ）、田立（ウォーキング） 10月9日
 北部（ウォーキング） 11月13日
 ○分館交流ソフトバレーボール大会 2月26日 中止
- ⑤第41回南木曾町・妻籠健康マラソン大会 中止
 主催：南木曾町・妻籠健康マラソン大会実行委員会
 町補助金：400,000円 ※R5開催準備分

〈参考〉

前回実施 令和元年度参加状況 参加申込者数 1,058人（うち町内 127人）
 当日受付者数 928人

(4) 社会体育施設の新型コロナウイルス感染症予防対策

- 新型コロナウイルス感染症予防対策についての注意喚起通知等
- 施設使用者へ施設利用者名簿作成の依頼
- アルコール消毒液及びペーパータオル等の配布及び設置

5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人南木曾チャレンジクラブ」

(1) 運営体制等

①会員総数 537人（男279名、女258名）

②事業内容

- 理事会 5回 南木曾会館ほか
- 通常総会 6月24日 書面決議
- 協議会 12月8日 南木曾会館
- 設立10周年実行委員会 4回 南木曾会館

③町補助金・委託料 4,250千円
 内訳 総合型スポーツクラブ補助金 2,650千円（うち臨時交付金150千円）
 育成部（少年スポーツ）委託料 1,600千円

④育成部関係

- 入団式 4月9日 南木曾中学校校庭
- 育成部会 6月29日 南木曾会館
- 加入クラブ（少年スポーツ 12クラブ）

南木曾学童野球クラブ	南木曾ジュニアサッカークラブ
南木曾ジュニアユースサッカークラブ	南木曾小年卓球クラブ
南木曾ジュニアバドミントンクラブ	南木曾バスケットボールクラブ
南木曾ジュニアバレーボールクラブ	南木曾小年剣道クラブ
和太鼓 CLUB「和楽」	バレエスタジオ SALAN
南木曾ジュニア陸上クラブ	小学生バレーボールクラブ

(2) スポーツ教室等

実施内容	場所	指導者	参加者
ノルディックウォーキング	社会体育館 他	—	24回：延べ175名
ポールウォーキング	社会体育館 他	置名愛さん	35回：延べ168名
太極拳教室	社会体育館	小幡哲夫さん	17回：延べ138名
フラメンコ教室	南木曾会館	江蔦康夫さん他	34回：延べ158名
フラダンス教室	社会体育館	—	15回：延べ89名
コアトレ&ピラティス教室	社会体育館	岡本敬弘さん	44回：延べ470名
ナイスミドル教室	社会体育館	岡本敬弘さん	26回：延べ160名
ヨガ（夜）	南木曾会館	小幡浩美さん	44回：延べ411名
ウォーキング教室	南木曾会館	辺見元孝さん	8回：延べ70名
水中ウォーキング教室	かたらいの里	長谷川正近さん	24回：延べ168名
ヨガ&ストレッチ	社会体育館	山本愛美さん	14回：延べ62名

実施内容	場所	指導者	参加者
夏休み子ども運動教室	南木曾小学校体育館	白金俊二さん	8月8日：20名
相撲教室	三留野分館相撲場	新井孝史さん	9月9～16日：6名
モルック体験会	社会体育館	—	10月12日：9名
町長杯マレットゴルフ大会	桃介・貞奴マレットゴルフ場	—	10月20日：19名
こども駅伝大会	川向右岸道路 他	スポ少指導者	12月4日：20名
卓球教室	社会体育館	スポ少指導者	12月11日：72名
バスケットボール交流イベント	社会体育館	スポ少指導者	12月18日：27名

(3) その他の事業

○健康増進ヘルスアップ事業、国保保健事業

インターバル速歩講座

8回 5月～11月 参加者 延べ 139名

○中学校放課後子ども教室 4月～3月 利用者 延べ1,884名 ※登録78名

○健康マージャン 通年88回 参加者 延べ 353名

○おさがり会 5月：ディスプレイ式 56名／10月：対面・ディスプレイ式 100名

○なぎのこマルシェ 10月16日 来場者 300名 ※出店者含む

○制服バンク、通学カバンリサイクル 通年

○なぎそサークル発表会 9月4日 木曾広域CATV収録

※南木曾町公民館と共催 参加数 15団体 延べ 96名

○長野県地域発元気づくり支援事業

南木曾グッド・ライフ プロジェクト「誰もが生活の中に運動習慣を！」

6回 6月～11月 参加者 延べ 76名

[別表]

令和4年度生涯学習関係主な建設事業及び補助事業

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考												
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他													
							一般財源													
街なみ環境整備事業関係																				
令和4年度妻籠分館取壊し工事	妻籠	会議室棟 ホール棟 計411.13m ²	23,089		23,089															工事請負費
令和4年度妻籠分館取壊し工事監理業務	妻籠	工事監理 一式	550		550															委託料
令和4年度街なみ環境整備事業妻籠町並み交流センター外構工事	妻籠	舗装工 排水構造物工 縁石工 電気設備工	15,158	7,579	7,579															工事請負費
令和4年度街なみ環境整備事業妻籠町並み交流センター外構工事 設計・積算・工事監督	妻籠	設計・積算・監督 一式	598		598															負担金
令和4年度妻籠町並み交流センター駐車場修正設計業務	妻籠	修正設計 一式	495		495															委託料
令和4年度妻籠町並み交流センター駐車場協会復元測量業務	妻籠	復元測量 一式	286		286															委託料
令和4年度旧妻籠小学校プールアスベスト調査業務	妻籠	アスベスト調査 4カ所	308		303															委託料
合 計			40,484	7,579	32,900															5

街なみ環境整備事業 関連事業関係

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考												
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他													
							一般財源													
令和4年度 妻籠分館プール除草工事	妻籠	除草工事 一式	353																	施設修繕費
妻籠町並み交流センター駐車場整備に伴う物件移転補償料	妻籠	CATV メッセンジャー イヤール他 一式	260																	施設修繕費
合 計			613																	613

[別表]

令和4年度生涯学習関係主な建設事業及び補助事業

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				左の財源		内容		
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
令和4年度南木曽会館音響設備更新工事	妻籠	音響設備一式	2,365			2,300	65	工事請負費
合 計			2,365			2,300	65	

単位：千円

6. 児童福祉・子育て家庭等支援活動

(1) 子育て家庭支援関係

①家庭教育学級・町内こども園で地域の親子を対象に例年開催

・令和4年度はコロナ禍で未実施

②放課後子ども教室（子どもプラン推進事業） 県補助金342千円

ア. 開設期間 利用登録者数50名

・通常教室	登校日の平日	203日間	下校後～18時30分	子ども教室
・夏休み教室	夏休み期間中の平日	15日間	7時30分～18時30分	〃
・冬休み教室	冬休み期間中の平日	2日間	7時30分～18時30分	〃
・春休み教室	春休み期間中の平日	13日間	7時30分～18時30分	〃

利用状況（延べ数、単位：人）

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
R4年度	人数	237	192		331	376	291	312	266	282	272	237	234	313	3,343
	日数	20	16		22	20	19	20	19	20	19	17	19	22	233
	日平均	11.85	12.00		15.05	18.80	15.32	15.60	14.00	14.10	14.32	13.94	12.32	14.23	14.35

イ. 運営体制等 コーディネーター：0名、教育活動サポーター：8名

特別支援員（教員）：3名

・放課後子ども教室運営委員会	1回	コロナ禍で書面報告
・サポーター会議	5回	放課後子ども教室なぎそっこ
・保護者説明会等	3回	南木曾会館他

③木曾郡放課後児童連絡会

・令和4年度は定例会5回、講習会1回、学習会1回の合計7回参加をした。

(2) 児童福祉

①保育所関係

・認定子ども園「なぎそこども園」が新たな保育・教育、子育て支援拠点として、令和4年4月1日開園しました。これまでの、読書保育園を「なぎそこども園本園」とし、蘭保育園と田立保育園を「蘭園」、「田立園」の分園に位置づけ3施設で一体的に運営を行いました。

本園では、これまでの3園の3歳以上児を集団化し、多様化する保育ニーズに対応し、幼児期の教育・保育の質の向上に対応をしました。また、保護者送迎が必要となる未満児保育については、身近な蘭園と田立園で受け入れ態勢を確保しました。これまで南木曾会館で実施していた「おやこのひろば」や「一時預かり事業」を田立園で実施し、保護者の子育て相談等にも応じました。

ア. 入所児童数（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

	本園				蘭園	田立園	合計
定員	117名 (うち未満児27名)				9名	9名	135
入所人員	未満児	3歳	4歳	5歳	未満児	未満児	未満：23 3歳：22 4歳：14 5歳：25
	17	22	14	25	6	0	
計	78				6	0	84

イ. 園児数の推移

年度	人数			人数（予測）			
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
0歳児数	23	16	13	20	20	20	20
1歳児数	21	24	17	13	20	20	20
2歳児数	16	22	23	17	13	20	20
計	60	62	53	50	53	60	60
こども園 年少児数	25	17	22	23	17	13	20
〃 年中児数	24	25	14	22	23	17	13
〃 年長児数	18	24	25	14	22	23	17
計	67	66	61	59	62	53	50

※5年度以降の出生数の20人は総合戦略計画での計画値

ウ. 運営費

(単位:円)

項	目	決算額	比率	備考
歳入	保育料	6,731,700	4.6%	
	国・県補助金	16,900,689	11.5%	
	町負担	121,856,554	82.9%	
	起債	0	0.0%	
	基金繰入金	0	0.0%	子育て基金
	諸収入	1,473,980	1.0%	
	歳入合計	146,962,923	100.0%	
歳出	保育運営費	144,751,318	98.5%	
	(内人件費相当分)	114,016,333	77.6%	
	施設管理費	2,211,605	1.5%	
	基金積立金	0	0.0%	子育て基金
	建設改良費	0	0.0%	
	歳出合計	146,962,923	100.0%	
※国・県補助金の内訳 電源立地地域対策交付金16,207,000円、第3子以降の保育料減免事業補助金72,000円、地域材利用促進関係補助金375,000円、子どものための教育・保育給付費246,689円 計16,900,689円 ※諸収入は職員給食費1,473,980円				

エ. 保育料徴収状況

(単位円)

年度	内容	調定額	収入済額	不能欠損額	滞納額	徴収率
4	保育料	6,634,200	6,550,000	0	84,200	98.73
	延長保育料	1,300	1,300	0	0	100.00
過年	保育料	102,000	102,000	0	0	100.00
	延長保育料	78,400	78,400	0	0	100.00
計		6,815,900	6,731,700	0	84,200	98.76

オ. 保育所広域入所実施状況

4年度広域入所	項目	人数	金額	備考
	受入れ	0名	0円	
	委託	1名	402,130円	里帰り出産に伴う広域入所3ヶ月分

カ. 通園バス運行状況

＜なぎそこども園本園＞	与川上の原線	(登園) 南木曾観光タクシー (降園) 南木曾観光タクシー
	北部線	(登園) おんたけ交通 (降園) 南木曾観光タクシー
	吾妻線	(登園) 南木曾観光タクシー (降園) 南木曾観光タクシー
	田立線	(登園) 南木曾観光タクシー (降園) 南木曾観光タクシー

- ・通園バス運行委託料（教育委員会分） 11,661,750円
令和4年度よりこども園移行に伴い、与川上の原線、吾妻線、田立線を新規路線として教育委員会対応で契約。北部線は、新交通システムで契約。
- ・特発バス委託料（こども園遠足） 524,400円
遠足、散歩等で各地域に出かけ活動を広げた。
特発バス委託料は、遠足、散歩として21回実施した。

キ. 希望保育及び早朝・延長保育について

こども園への移行に伴い、保育時間については、従来の保育標準時間（1日11時間）と、保育短時間（1日8時間）認定（区分）に加え、教育標準時間（1日6時間）が追加された。

- ・平日 保育標準時間 7時30分から18時30分まで
保育短時間 8時30分から16時30分まで
教育標準時間 8時30分から14時30分まで
- ・土曜日 保育標準時間 7時30分から17時00分まで（希望保育）
保育短時間 8時30分から17時00分まで（希望保育）
教育標準時間 8時30分から17時00分まで（有料の預かり保育）

＜土曜日、希望保育登園実人員状況＞ (単位：人()は令和3年度)

園名	土曜日	春季	夏季	冬季
本園	150(5)	101(38)	309(67)	33(18)
蘭園	本園	(25)	(37)	本園
計	150(5)	126(38)	346(67)	33(18)

＜延長保育実施状況＞ (単位：人()は令和3年度)

園名	標準時間 認定利用者	短時間 認定利用者	教育時間 認定利用者	短時間認定のうち 延長保育利用者	教育時間認定のうち 延長保育利用者
本園	23(17)	56(33)	5(0)	5(0)	0(0)
計	23(26)	56(59)	5(0)	5(0)	0(0)

※保育短時間認定の17時00分から18時30分までの利用状況について記載

ク. 認定こども園運営審議会

認定こども園の円滑な運営や運営内容の評価・検討を図るため認定こども園審議会を設置し、こども園の運営評価等について協議を行った。

第1回 7月28日 南木曾会館 第2回 3月2日 南木曾会館

ケ. こども園入園説明会

一日入園

令和4年11月9日 田立園

令和5年1月17日 本園

コ. 南木曾町子ども子育て会議

令和元年に策定した南木曾町子ども子育て支援計画（後期計画）の事業進捗や各種事業の実施状況等を確認等行い、計画内容に対する状況を確認した。

会議では、コロナ禍の影響により計画に位置付けた貧困対策の状況確認や支援を受ける方も周囲からの目が気になることなどの課題等のご意見があり、今後、福祉担当等とも連携し、生活困窮などの状況調査方法等を検討しつつ、有効的な支援が図れるよう検討することとなった。

- ・会議 令和5年2月2日（木）
- ・委員 南木曾町子ども子育て会議委員 13名参加（任期：令和3年度～4年度）

サ. 南木曾町子育て応援給付金給付事業

- ・3歳以上児の保育料の無償化に伴いこれまで「すこやか子育て支援事業補助金」の制度が不要となったため、これまで支援を行っていなかった1・2歳児を対象として子育て応援給付金の給付事業を令和元年10月から実施している。
- ・令和4年度も継続して1・2歳児を対象として実施した。

年度	支給対象者数	支払額	備考
4	40	3,568,000	子育て応援給付金

シ. 緊急災害時降園訓練（例年実施）について

- ・平成23年の東日本大震災を教訓に、平成24年度から各こども園で確実に園児を保護者の方に引き渡す受け渡し訓練を実施している。一斉メール・無線放送を活用。
- ・令和4年度は、6月13日（金）で実施した。

ス. 緊急時等の一斉配信システムについて

- ・緊急時一斉配信システム「オクレンジャー」を平成24年度から導入し、保育園からの緊急情報の伝達を行っている。
- ・主な配信内容は、防災訓練情報、園行事情報、不審者情報、感染症等の注意喚起等幅広く活用している。

セ. 主食・副食代（給食費等）の公費負担について

平成30年10月から主食費を含めすべての給食費すべてを公費負担とした。

令和4年度の給食等の食材購入費は6,281,564円となった。

なお、主食のごはんに合わせ、月に2回程度地元のパン屋より食パンを購入している。

ソ. 新型コロナウイルス感染症対策

<縮小>・園開放：園庭のみ開放とした。

- ・運動会：参観として実施し各家庭2名までの参加。
実施日：10月13日（木）
- ・参観日：日にちをクラス別として実施し、各家庭1名参加
5月18日（水）年少児
6月2日（木）年中児
6月15日（水）年長児
7月5日（水）蘭園
7月6日（木）未満児
- ・入園式：入園児童の家庭2名までの参加。
4月5日（火）

タ. 新型コロナウイルス感染症対策緩和

- ・2月参観日：劇遊びの活動を3歳以上児全員で行う。参観は2日に分け各家庭1名の参加
2月21(火)・22日（水）
- ・卒園式：卒園児保護者の各家庭2名までの参加。来賓の人数を絞り参加あり
3月24日（金）

チ. 歩行測定 5歳児、3歳児を対象に歩行測定を実施し、園生活での子どもの体の発達や保育活動内容を検証する。

- ・歩行測定実施日：11月21日（月）

ツ. 信州型自然保育認定

長野県が長野県で育つ子どもたちが、信州の豊かな自然の中で子どもが本来持っている自ら学び成長しようとする力を育む子育てを理念とし、2015年に創設した制度。

こども園では信州型自然保育認定園（普及型）として令和4年10月1日に認定を受けた。

テ. こども園開設記念事業

子どもたちが本物の文化に触れる活動

人形劇：むすび座 6月8日（水）

音楽鑑賞：音喜楽ボーイズ 9月16日（金）

伝統芸能：田楽座 11月17日（木）

ト. 勝野真言先生のワークショップ

南木曾出身の彫刻家 勝野真言先生と土粘土を使い制作活動を行う。

9月7・8・9日 顔、お菓子タワーを制作した。

ナ. 木育活動

こどもが木を素材とした調度品（オモチャ）に触れたり、見たり擦ることで、木材の温かさや柔らかさを感じ情操教育の推進や五感の育ちを支援するため、「子どもの居場所」木質空間整備事業の補助制度活用し、木製棚、磁石つきの木製積木を導入した。

ニ. 運営評価調査

認定こども園への移行に伴いこども園教育要領に定める園評価の実施に従って行った。結果については、こども園運営審議会にて報告、公表した。

- ・こども園運営評価調査（保護者・職員）：1月10日～1月18日
- ・こども園運営等サービスに関するアンケート：12月6日～12月27日

②子育て支援事業

ア. おやこのひろば

- ・就園前の子どもとその保護者が参加するあそびの場の提供、子育て相談の対応等
- ・総事業費 12,369,694円（うち国庫補助金2,752,000円 県補助金2,648,000円）
- ・開設場所：田立園 出張ひろばは蘭園で実施。
- ・スタッフ：4名 ※職員1名、会計年度任用職員3名
- ・開催回数：田立園 235回、参加延人数：1,911人（前年2,284人）
蘭園（出張ひろば）7回、参加延人数21名

イ. 年齢別活動（年齢に応じた遊びや関わり方を学ぶ。）

講座	内容	実施回数	参加者
0歳児	親子ふれあい遊びを通して関わり方を楽しむ	8回	127名
1歳児	手・指を使い模倣あそびを楽しむ	8回	98名
2歳児	遊びを通して友達との関わりを楽しむ	8回	102名

ウ. 子育て講座の開催

講座	内容	実施回数	参加者
お話の会	絵本やパネルシアターを親子で楽しむ	3回	33名
新生児講座	助産師によるベビーマッサージ	4回	22名
運動あそび	子どもの能力を育てる運動遊び	4回	49名
リズムあそび	親子で楽しむトミック	4回	53名

※制作あそびは年齢の会で実施

エ. 一時的保育事業（一時預かり）

1歳から3歳までの未就園児を対象に田立園おやこのひろばで預かる事業

7月より一時的保育の利用促進を目的に「ママリフレッシュ事業」（預かりの最初の1時間を無料にするリフレッシュ券を4枚配布）を実施。

- ・利用料：預かりの最初の1時間 500円以後1時間ごとに100円
- ・利用実績：延べ人数 113名（前年 24名） 46,700円

オ.療育支援事業（遊びの教室）・療育・発達等相談

- ・遊びの教室により、保護者と子ども、支援員と遊びながら子どもの成長を確認して子どもとの関わり方など保護者と一緒確認している。また、子どもの成長過程での保護者の不安や必要な支援について相談に応じている。
- ・巡回療育相談 開催回数：10回、対象児数：25人
 ※障害者総合支援センター「ともに」による県事業
 参加者：言語聴覚士・作業療法士・療育コーディネーター・保健師・保護者等
 内容：言語・集団行動・発達・理解力等について
 対象児：未就園児・園児

カ.南木曾町育児ミニ・ファミリー・サポート事業

- ・子育て中の住民が、安心して子どもを育てることができる環境づくりと、仕事と育児の両立、また、児童福祉の向上を図るために実施
- ・提供会員（サポーター）3名 ・依頼会員0名
- ・利用延件数…0件（前年0件）

キ.南木曾町こどもサポート協議会

- ・児童福祉法第25条の2に規定する要保護児童対策地域協議会として設置。
- ・代表者会議、子ども支援者連絡会、個別ケース会議を開催し、子どもの支援を行う。
- ・会議の運営は、子育て世代包括支援センター（子ども家庭総合支援拠点）の職員が一体的な支援等ができるよう実施している。
- 子育て世代包括支援センターの運営と子ども家庭総合支援拠点の設置
- ・令和2年4月1日に町子育て世代包括支援センターを教育委員会事務局内に設置した。また、令和3年4月1日から子ども家庭総合支援拠点の機能も合わせて設置した。
- ・センターでは、子育て支援コーディネーター担当の他、保健師等の連携により子育て中のあらゆる相談に応じるほか、こども園、小・中学校、高校等と連携を図りながら家庭支援を図った。
- ・子ども家庭総合支援拠点では、児童虐待や児童福祉法第25条で位置付けている要保護児童等について、子どもサポート協議会の実務者会議や支援者間ケース会議等で協議し、支援者全体で連携を図りながら支援を実施した。

代表者会議：開催回数1回

内容：児童の状況、巡回療育事業について、子どもの虐待関係について 他

子ども支援者連絡会：開催回数4回 延べ件数：584件

内容：こどもサポート協議会の実務者会議
 こどもの現状・課題・今後の方向等の情報共有

個別ケース会議

（単位：回、人（ ）は前年値）

所属	開催回数	対象実人数	延人数
こども園	26 (23)	20 (19)	26 (23)
その他	0 (4)	0 (2)	0 (4)
小学校	43 (47)	26 (14)	43 (30)
中学校	29 (18)	22 (9)	29 (16)
養護学校	4 (3)	5 (2)	4 (3)
高等学校	0 (2)	0 (1)	0 (2)
計	102 (95)	73 (67)	102 (95)

ク.ブックスタート

- ・乳児と保護者が絵本を通して、豊かな時間を共有し絵本に親しんでもらう為、読み聞かせを行い田立園で贈呈する。(5冊中1冊を対象者が選択)
- ・対象：8カ月児
- ・開催回数：10回、参加延人数：12名

ケ.ブックスタート・プラス

- ・令和2年度から2歳児のお子さんを対象に毎月自宅へ絵本を届けるブックスタート・プラス事業を実施しています。令和3年度の対象者は以下のとおり
- ・対象児童 24名 (参考) R3：20名

コ.新型コロナウイルス感染症対策

- ・乳幼児の安全を図るため、利用前の検温やアルコール消毒などの徹底により、安心しておやこのひろばや各種事業の利用ができるよう対応した。

③児童遊具事業

- ・遊具の安全管理のため毎年保守点検を行い必要に応じ修繕を実施している。近年は、遊具の老朽化等の課題もあり利用状況を確認しながら必要な整備を図るようにしている。
- ・保守点検：町内児童遊園11箇所、こども園3箇所の保守点検を実施
- ・委託業者：株式会社 三英日体 委託料：209,000円

7. 文化財保護事業

(1) 国・県指定文化財関係

・史跡中山道

(計画策定)

史跡中山道保存活用計画策定委員会

6月21日 第3回史跡中山道保存活用計画策定委員会 南木曾会館

7月20日 現地調査(県・町・正副委員長等)

10月26日 第4回史跡中山道保存活用計画策定委員会 南木曾会館

12月16日 第5回史跡中山道保存活用計画策定委員会 南木曾会館

保存活用計画策定に係る支援業務 3,355千円

史跡中山道保存活用計画書印刷業務 792千円

(修繕工事)

歴史の道災害復旧(一部令和5年度へ繰越) 3,000千円

(令和4年度実施分:馬籠峠倒木処理・路肩修繕・手摺設置)

・文化財パトロール 1回(9月28日実施):県指導員とともに町内文化財巡視

・特別天然記念物カモシカ滅失・・・0件

(2) 町指定文化財等保護事業

・7月26日 無形文化財代表者会議(南木曾会館)

・無形文化財保存活動町補助金 500千円

(与川神楽保存会・田立花馬祭り保存会、田立歌舞伎保存会)

・かぶと観音管理委託(神戸区) 70千円

・園原家住宅管理委託(園原氏) 115千円

・修繕工事 上嵯峨屋板塀修繕 170千円

・ 〃 下嵯峨屋・熊谷家雨樋修理 11千円

(3) 文化財保護審議会関係

・5月25日 令和4年度第1回南木曾町文化財保護審議会 南木曾会館

・5月25日 第41回木曾郡文化財保護連絡協議会研修会総会 大桑村役場

・9月11日 長野県文化財保護協会木曾大会 木曾町文化交流センター

・9月11日 令和4年度第2回南木曾町文化財保護審議会 南木曾会館

(「南木曾の林業資料」:町有形民俗文化財指定の答申)

(4) 埋蔵文化財

・工事に伴う埋蔵文化財の問い合わせ確認(随時)

・公共事業等に係る埋蔵文化財等の保護協議調査の実施

・埋蔵文化財範囲確認調査の実施(木曾広域連合理蔵文化財調査指導員等)

(5) 調査、記録等

① 日本遺産関係

4月26日 第1回木曾地域文化遺産活性化委員会

5月30日 日本遺産再認定現地調査(南木曾町～中津川市馬籠宿)

日本遺産委員会より委員が来町し、継続審査に関する現地調査を行った。

7月29日に認定継続の通知・公表がされた。

7月5日 木曾地域文化遺産活性化協議会総会(妻籠町並み交流センター)

- 8月19日 日本遺産紹介冊子「日本遺産 木曾路物語」作成部会（WEB）
令和5年2月に完成し（データのみ配布）、3月2日に放課後子ども教室
で冊子を活用した講座を開催した。
- 2月13日 日本遺産PR事業（日本遺産の日）

②林業資料

- 6月29日 県文化財保護審議会委員と長野県職員による現地視察
9月28日 「南木曾の林業資料」町有形民俗文化財へ指定
3月16日 「南木曾町の林業資料」長野県有形民俗文化財へ指定
※将来的に他町村で林業資料が指定されることを見据え、県審議会において「南
木曾」ではなく「南木曾町」とした。
同日、町指定有形民俗文化財指定解除

③南木曾町誌

令和5年度の発行に向け、資料収集等に協力した。

④文化庁・長野県協議

- ・史跡中山道男滝上災害復旧工事に関する現状変更（文化庁許可）
- ・史跡中山道妻籠宿美装化工事に関する現状変更（長野県許可）

⑤近代化遺産（重要文化財） ※関西電力による事業

- 6月23日 読書発電所・柿其水路橋耐震補強 文化庁調査官現地指導
9月16日 読書発電所・柿其水路橋耐震補強 文化庁調査官現地指導
12月9日 耐震性照査結果報告（WEB） 関西電力・文化庁・長野県・南木曾町

（6）関係団体等

- ・全国史跡整備市町村協議会
- ・史跡整備等長野県市町村協議会（理事）
- ・長野県史料保存活用連絡協議会（理事）
- ・全国近代化遺産活用連絡協議会
- ・歴史的景観都市協議会

（7）街なみ環境整備事業

- ・令和4年度妻籠地区防災施設更新工事 31,000千円（※令和5年度へ繰越）

南木曾町の文化財

令和5年3月現在

国	重伝建	妻籠宿保存地区	町	有形文化財	城坂峠の宝篋印塔	町	史 跡	かぶと観音
国	史 跡	中山道	町	有形文化財	川向の聖観音像と厨子	町	史 跡	大崖砂防堰堤
国	重 文	柿其水路橋	町	有形文化財	熊谷家住宅	町	史 跡	与川渡の石地藏
国	重 文	桃介橋	町	有形文化財	木地師の家	町	史 跡	園原先生碑
国	重 文	読書発電所	町	有形文化財	光徳寺薬師如来勸進帳	町	名 勝	木曾八景与川の秋月
国	重 文	林家住宅	町	有形文化財	光徳寺大般若経	町	名 勝	旧中山道男滝女滝
国	選定保存技術	屋根板製作	町	有形文化財	問屋申付状	町	名 勝	鯉岩
県	県 宝	藤原家住宅	町	有形文化財	奥谷家普請関係文書	町	天然記念物	与川白山神社の大杉（2本）
県	県 宝	旧御料局名古屋支庁妻籠出張所庁舎	町	有形文化財	木曾妻籠宿書留	町	天然記念物	和合の枝垂梅
県	県 宝	園原家住宅	町	有形文化財	南野家住宅	町	天然記念物	三留野本陣の枝垂梅
県	名 勝	田立の滝	町	有形文化財	太田垣外遺跡の琥珀大珠	町	天然記念物	与川白山神社の社叢
県	無形民俗文化財	田立の花馬祭り	町	有形文化財	蘭の観音堂	町	天然記念物	柿其八幡様の社叢
県	天然記念物	妻籠のギンモクセイ	町	有形文化財	養気荘（旧瀧家別荘）	町	天然記念物	天白のツツジ群落
県	史 跡	妻籠城跡（つまごじょうあと）	町	無形文化財	田立歌舞伎	町	天然記念物	和合のアラガシ
県	有形民俗文化財	南木曾町の林業資料	町	無形民俗文化財	与川の神楽獅子	町	天然記念物	一石柝の枝垂桜
町	有形文化財	聖観音像（円空仏）	町	無形民俗文化財	蘭のさいとろさし	町	天然記念物	槇平のガヤの木
町	有形文化財	韋駄天像（円空仏）	町	無形民俗文化財	大黒踊	町	天然記念物	八剣神社の大杉
町	有形文化財	弁財天十五童子像（円空仏）	町	無形民俗文化財	田立の刺捕差	町	天然記念物	坪川の銀杏
町	有形文化財	天神像（円空仏）	町	無形民俗文化財	大鍬大明神祭り	町	保存技術	田立の和紙製造技術
町	有形文化財	上嵯峨屋	町	無形民俗文化財	百万遍念仏			
町	有形文化財	下嵯峨屋	町	史 跡	石柱道標			
町	有形文化財	沼田の五輪塔	町	史 跡	柵形の跡			
町	有形文化財	光徳寺の車付駕籠	町	史 跡	上久保の一里塚			

8. 妻籠宿保存事業

(1) 妻籠宿保存事業

①妻籠宿保存地区保存審議会

保存審議会の開催

8月31日 第1回審議会

審議事項：①妻籠地区防災施設改修工事について

②妻籠宿内舗装美装化工事について

3月6日 第2回審議会（書面開催）

報告事項：①令和5年度重伝建工事について

②妻籠宿内舗装美装化工事について

③妻籠地区防災施設改修工事について

②妻籠宿連絡調整会議

連絡調整会議の開催

2月13日 第1回連絡協議会

③現状変更行為許可申請

・申請 79件（承認79件 [条件付承認3件 要望3件] 保留0件 対象外0件）

・統制委員会への出席（オブザーバー）

4月20日、5月20日、6月20日、7月20日、8月22日、9月20日、10月20日、

11月21日、12月20日、1月20日、2月20日、3月20日

・事務処理及び審議事務の委託（公財）妻籠を愛する会 842,400円

④妻籠宿保存地区保存基金寄付金

令和4年度実績 寄付0件
令和4年度末積立額 5,717,763円

⑤保存地区内公開家屋の管理委託先

- ・上嵯峨屋 寺下区
- ・下嵯峨屋 嵯峨 幸子氏
- ・馬屋 嵯峨 幸子氏
- ・熊谷家 原 久恵氏
- ・大妻籠交流施設 藤原 勲氏
- ・恋野口留番所跡 恋野区
- ・ふれあい館 指定管理者制度により(一般社団法人)南木曾町観光協会が管理(R3～R7年度)
- ・下町旧櫻井家無料休憩所 下町区
- ・田原家トイレ 下町区(清掃)

⑥全国、関連組織との連携

- ・全国伝統的建造物群保存地区協議会関係
 - 4月 第1回役員会(新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議)
 - 5月19～20日 第44回総会・研修会 広島県呉市
 - 8月 第2回役員会(書面決議)
 - 11月17日 第3回役員会・要望活動 東京都
- ・全国伝統的建造物群保存地区協議会 関東・甲信越静岡ブロック会議
 - 10月27～28日 ブロック会議・担当者研修会 塩尻市
- ・全国町並み保存連盟
 - 6月11～12日 第45回全国町並みゼミ新潟市大会 新潟県(欠席)
- ・歴史的景観都市協議会
 - 10月27～28日 第49回総会 徳島県三好市(欠席)

(2)重要伝統的建造物群保存地区保存事業

①重要文化財林家住宅主屋及び侍門保存修理工事

令和3年度から繰越

- ・林家(奥谷)の主屋3階の壁と侍門の修理等

②保存修理事業(国県町補助事業)

令和3年度から繰越

- ・伊藤正博宅主屋(大妻籠) 屋根葺替(ガリバリウム鋼板)、^{せき}堰板、張出部梁補強等
令和4年度
- ・松井康子宅土蔵(上町) 荒壁塗り、なまこ壁塗り等(2ヶ年事業の1年目)

③小規模修理事業補助金(町単)

- ・熊谷萬里子宅(大妻籠) 主屋格子戸修理

- | | |
|------------|-----------|
| ・久場勝宅（中町） | 主屋破風板修理 |
| ・今井浩人宅（上町） | 土蔵屋根修理 |
| ・古畑和一宅（下町） | 主屋堰板・雨樋修理 |
| ・松井康子宅（上町） | 小屋破風等修理 |

④文化庁建造物課調査官ならびに県教育委員会による指導等

6月21日 文化庁調査官 史跡中山道災害現場（男滝上）現地視察

6月24日 文化庁調査官 林家住宅主屋及び侍門保存修理現地指導

7月15日 文化庁調査官 重伝建事業現地指導

12月8日 文化庁調査官 史跡中山道災害復旧工事工法指導（松本合庁）

(3) その他保存事業関連

世界文化遺産関係

暫定一覧表候補案件であるが、文化庁で暫定案件の処理が優先されているため、特記する活動はなかった。

[別表]

文化財保護関係 主な建設関係事業及び補助事業

(単位：千円)

事業名	事業箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
文化財保護一般	県宝藤原家 山の歴史館	屋根心急対応 柱脚補修・防蟻剤注入	488 88	0 0	0 0	0 0	0 0	488 88	
計			576	0	0	0	0	576	

町指定文化財保護事業	上嵯峨屋	板塀修繕	170	0	0	0	0	170	
計			170	0	0	0	0	170	

地域伝統芸能等保存事業	田立花馬祭り保存会他	保存・継承活動支援事業 (無形文化財保存活動町補助金)	500	0	0	0	0	500	
計			500	0	0	0	0	500	

歴史の道整備事業 (史跡中山道保存活用事業)	三留野宿本陣	説明看板	183	0	0	0	0	183	
	中山道 (与川・阿征坂)	通行止め看板	166	0	0	0	0	166	
	中山道 (橋場)	崩落復旧	143	0	0	0	0	143	
	中山道 (下り谷)	男滝上災害復旧	159	0	0	0	0	159	
	中山道 (与川根の上峠)	洗堀復旧等 (第1～3工区)	931	0	0	0	0	931	
	町内	保存活用計画策定	3,355	1,680	100	0	0	1,575	
	計			4,937	1,680	100	0	3,157	

街なみ環境整備事業	妻籠宿周辺地区	令和4年度防災施設更新工事	31,000	15,000	0	15,921	0	79	令和5年度へ繰越
		漏水調査	176	0	0	0	0	176	
計			31,176	15,000	0	15,921	0	255	

保存対策事業	妻籠宿ふれあい館	雨樋・床下隠し板等	264	0	0	0	0	264	
計			264	0	0	0	0	264	

(単位：千円)

事業名	事業個所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
小規模修理事業補助金	熊谷萬里子宅主屋(大妻籠)	格子戸修理	496	0	0	0	199	297	補助率 6/10
	久場勝宅主屋(中町)	破風板修理	495	0	0	0	50	445	補助率 9/10
	今井浩人宅土蔵(上町)	土蔵屋根修理	345	0	0	0	124	221	補助率 3/10・9/10
	古畑和一宅主屋(下町)	堰板・雨樋修理	204	0	0	0	20	184	補助率 9/10
	松井康子宅小屋(上町)	小屋破風等修理	242	0	0	0	87	155	補助率 6/10・9/10
計	5件		1,782	0	0	0	480	1,302	

重要伝統的建造物群保存修理事業(工事費、設計費込)	松井康子土蔵(2ヶ年工事の1年目)	下見板撤去、荒壁塗り、なまこ壁塗り等	4,272	2,247	103	0	855	1,067	2割自己負担
	事務費		65	0	0	0	0	65	
計			4,337	2,247	103	0	855	1,132	

文化財災害復旧事業	中山道(馬籠峠)	倒木処理	493	0	0	0	0	493	令和5年度へ繰越あり
	中山道(馬籠峠)	路肩修繕	499	0	0	0	0	499	
	中山道(大妻籠)	手摺設置	494	0	0	0	0	494	
	3件		1,486	0	0	0	0	1,486	

文化財災害復旧(過年度)	中山道(男滝上)	測量設計	1,540	0	0	0	0	1,540	
計			1,540	0	0	0	0	1,540	

【令和3年度からの繰越事業】

歴史の道整備事業(工事費、設計費込)	中山道(神明)(令和3年度繰越)	斜面对策緊急防災工事	13,977	0	0	13,500	477	0	前払金(R3支払分)5,200含む
重要伝統的建造物群保存修理事業(工事費、設計費込)	伊藤正博宅(令和3年度繰越)	板屋根草替、堰板、張出部梁補強等	6,655	3,921	180	0	666	1,888	1割自己負担
	事務費		44	0	0	0	0	44	
重要文化財林家住宅修理工事補助金(博物館一般運営費)(工事費、設計費込)	林家住宅(奥谷)修理補助(令和3年度繰越)	侍門、3階壁	6,710	4,168	288	1,300	335	619	5%自己負担
計	3件		27,386	8,089	468	14,800	1,478	2,551	

9. 南木曾町博物館関係

(1) 職員体制及び入館実績

①職員 館長、係長、主査、計3名（文化財町並係兼務）

②名誉館長1人 フルタイム会計年度職員3人 パートタイム会計年度職員6人

③令和4年度入館者数 (人)

月	人数	月	人数	月	人数	月	人数	
4	1,844	7	1,429	10	3,364	1	967	
5	2,781	8	2,685	11	2,844	2	940	
6	1,239	9	1,868	12	959	3	2,332	
							計	23,252

(前年度比 年間で9,520人増)

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく入館者数が少なかったが、徐々に増加している。

(2) 博物館運営協議会関係

3月27日 開催 博物館会議室

協議事項

- ・経営体制について
- ・博物館入館者の推移について
- ・博物館活動について など

(3) 特別展の開催について

土雛展 令和3年3月8日（火）～令和3年5月13日（木）

(4) 博物館関係の主な活動等

①活動一般

4月14日 経済産業省事業取材、しんきん会報誌取材
 5月18日 コベルコ建機株式会社社会報誌取材
 10月2日 木曾観光連盟取材、信濃毎日新聞取材
 11月9日 青森県弘前大学 琥珀玉撮影
 11月13日 観光庁事業取材
 12月8日 市民タイムス取材
 12月19日 南木曾町観光協会「最も美しい村」写真集撮影
 1月3日 中日新聞取材
 1月10日 ゼナギ プロモーション映像撮影
 1月23日 韓国テレビ番組撮影
 3月7日 木曾広域テレビ「ウィークリーきそ」撮影
 3月19日 南木曾町観光協会音声アプリ取材
 3月22日 市民タイムス取材（土雛）

②教育関係

4月23日 名城大学デイハイク 311名

4月28日	南山高校（女子部）	3名
5月9日	中津高校	4名
5月10日	多治見市立南ヶ丘中学校	94名
5月20日	多治見中学校	144名
5月26日	南木曾中学校1学年	44名
5月27日	多治見市立小泉中学校	147名
5月30日	木曾町中学校	50名
6月10日	大坂市立佃中学校	161名
7月6日	阿南連合小学校5学年	35名
8月6日	名城大学	13名
9月2日	名城大学渋井ゼミ	30名
9月7日	檜川中学校7・8学年	22名
	名古屋外国語大学	2名
9月27日	京都美術工業大学	3名
9月30日	南木曾小学校6学年	37名
10月12日	渋谷教育学園渋谷中学校	7名
10月21日	岐阜県関高校	2名
10月26日	東大附属中学校	117名
11月11日	蘇南高校	46名
11月13日	筑波大学	4名
11月19日	名城大学経済学部	24名
11月29日	大妻女子大学	10名
12月20日	南木曾小学校4学年	
2月3日	アメリカの高校	33名
2月19日	シンガポールの高校	20名
2月24日	大桑小学校特別支援学級	7名

③事業協力

- ・信州ハイウェイ周遊キャンペーン優待協力
- ・伊那路・木曾路ハイウェイキャンペーン優待協力
- ・阿智昼神観光局主催ツアー星パッケージプラン
- ・南信州観光連携プロジェクト会議「物味湯産手形」発行協力
- ・(公財)日本ナショナルトラスト会員優待施設協力
- ・八十二財団友の会優待協力
- ・JR東海「木曾路フリーキップ」優待協力
- ・長久手市「南木曾町内施設利用優待」協力
- ・JR東海ツアーズ日帰りフリープラン優待協力
- ・各種旅行情報誌等への情報掲載
- ・各旅行社へのパンフレット送付

(5) 博物館施設設備関係の維持修繕関係 (50千円以上の修繕)

・資料館エアコン修繕	468千円
・資料館トイレ改修	4,840千円
・本陣縁側雨樋設置	309千円
・本陣塀修理	4,840千円 (令和5年度へ繰越)

- (6) 新型コロナウイルス感染症対策
- ・入館前の消毒・検温・連絡先記入
 - ・三密を避けるため見学エリアの制限

(7) 南木曾町博物館の収支の状況

収 入

単位：円

項 目	令和4年度決算額	備 考
使用料及び手数料	12,172,546	
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	5,050,000	博物館トイレ改修・エアコン改修
雑入	82,600	
収入計	17,305,146	(前年対比 130.3%増)

支 出

単位：円

項 目	令和4年度決算額	備 考	
博物館 一般運営費	報酬	9,731,662	パートタイム会計年度職員報酬
	給料	7,077,600	フルタイム会計年度職員給料
	職員手当	1,607,562	パートタイム会計年度職員手当
		1,631,575	フルタイム会計年度職員手当
	旅費	323,620	パートタイム会計年度職員通勤費用弁償
	報償費	746,800	奥谷管理・博物館美化活動
	需用費	4,515,712	消耗品・燃料費・食糧費・印刷製本費 電気・ガス・水道・一般修繕・賄材料費
	役務費	810,241	電話料・火災保険料・入館者保険料
	委託料	2,550,559	警備委託料・清掃委託料 保守点検委託料・測量設計監理委託料
	工事請負費	5,109,500	博物館トイレ改修
	使用料及び賃借料	2,848,894	自動車借り上げ料・脇本陣賃借料 下水道使用料・ケーブルテレビ使用料
	備品購入費	86,580	掃除機、ファンヒーター、事務椅子
	負担金及び交付金	10,000	JTB中部圏誘致協議会
小 計	37,050,305	(対前年比 22.8%増)	
博物館 一般活動費	報 酬	16,000	委員報酬
	報償費	0	
	旅 費	8,905	
	需用費	1,140	食糧費
	役務費	3,000	宣伝費
	備品購入費	0	
	負担金及び交付金	11,000	県博物館協議会等 負担金
小 計	40,045	(対前年比 2.1%減)	
臨時職員共済費	共済費	1,725,164	社会保険料 (対前年比 1.6%増)
博物館一般人件費	職員手当等	549,216	退職手当負担金 (対前年比 5.4%増)
支出計	39,364,730	(対前年比 21.3%増)	

収入

支出

17,305,146 - 39,364,730 = △ 22,059,584